



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和7年1月8日

我孫子市小中一貫教育だより

第362号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-キャリア「仕事ってなんだろう」

湖北台東小学校の3年生総合的な学習の時間で、Abi-キャリアの授業が行われました。1年間かけて、仕事について調べたり、社会科見学、校外学習などで学んだりしたことを通し、仕事についての理解を深めるとともに、働くことへの関心を高めていくことが目的です。

本時の授業では、1年間のまとめとして、自分が興味を持った仕事について発表する準備をします。「ぬいぐるみ作家」や「パヒューマー」など、大人でも初めて知る仕事があり、つい「どんな仕事なの!？」と、聞いてみたくなりました。

初めに全員で、「仕事に就いたきっかけ」、「仕事の内容」、「大変なこと」、「必要な勉強」など発表に必要な視点について確認をしました。次に、小グループで互いにアドバイスをしました。「もう少し内容をしぼってみてはどうか。」、「仕事についての悩みはないのかな。」、「クイズ形式にしたら、聞いている人も楽しめるよ。」と、活発にアドバイスができました。

本時の授業は、話し合う目的や、話し合い方が丁寧に指導されていたことで、個々の考えを深めることができました。どの教科でも実践していく必要のあることだと感じました。児童のほとんどが、自分の考えを仲間のアドバイスから広げていく様子を見て、発表計画がよりよいものになるだろうと期待が高まりました。



Abi-ふるさと「あき だいすき」

湖北小学校の1年生生活科の学習で Abi-ふるさとの授業が展開されました。今日の学習は、地域にある幼稚園・保育園の年長児を学校に招待し、一緒におもちゃを作ったり遊んだりすることで自分の地域や、学区の様子について興味を持つことをねらいとしています。

おもちゃ作りの材料となる、どんぐりやまつぼっくりは1年生が地域にある公園で集めました。そのことを紹介すると、園児から「その公園知ってる。行ったことあるよ。」などの声が聞こえてきました。次に、遊べる5つのコーナーの説明をし、交流がスタート。1年生は、時間を区切り、お店屋さんや体験の担当に分かれました。

どんぐりマラカスやまつぼっくりけん玉のコーナーでは、紙コップに穴を開ける、クリップに紐を結ぶなど、手先を使ったり数を数えたりする活動がありました。小学生は、園児にコツを教えたり、一緒に数を数えたりしました。小学生と園児で特別にペアは作りませんでした。好きなことに夢中になって遊んだり作ったりすることで、自然と交流が生まれました。そのなかで、「これどうやるの。」「手伝おうか。」「自分で頑張る。」など助け合い学ぶ姿がみられました。

環境を準備することで、交流や学び合いが生まれ、子ども達は自立した学習者として育っていくという実践が行われた授業でした。

